

汚染の概要及び対応等

- 板倉区針地内の廃止された事業場において、土壤汚染対策法に基づき土地所有者が実施した土壤溶出量調査、土壤含有量調査及び土壤ガス調査の結果、有害物質である鉛及びジクロロメタン等が検出されました。

1 調査の概要

敷地全体を 25 区画に区分し、各区画から採取した試料を分析

土壤溶出量調査：1 区画の土壤から基準を超過する鉛を検出

濃度：0.013mg/l（土壤溶出量基準：0.01mg/l）

土壤含有量調査：2 区画の土壤から基準を超過する鉛を検出

濃度（最大値）：6,700mg/kg（土壤含有量基準：150mg/kg）

土壤ガス調査：計 6 区画の土壤からジクロロメタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン及びベンゼンを検出

※ 土壤ガス調査は、土壤汚染状況調査において土壤汚染の有無を把握するために行われる調査で、基準等はありません。

2 対応について

- ・ 市は周辺に飲用井戸がないことを確認しました。
- ・ 市は周辺の井戸の地下水調査を行い、汚染の有無や汚染の広がり把握します。
- ・ 市は土地所有者の行う調査の結果により、土壤汚染対策法に基づく土壤汚染区域として指定し、公示します。

(参考)

物質	健康への影響	用途
鉛	疲労、頭痛、関節痛、胃腸障害、中枢神経障害、末梢神経障害を及ぼすといわれている。	鉛蓄電池、ハンダ、合金原料、電線被覆、顔料、弾薬、プラスチック安定化剤等。
ジクロロメタン	中枢神経系への障害、知覚障害、運動機能障害を及ぼすといわれ、発がん性が疑われている物質。	洗浄剤、脱脂剤、塗装はく離剤等。
トリクロロエチレン	中枢神経系への障害、肝臓腎臓への障害、呼吸機能低下を及ぼすといわれ、発がん性は低いといわれている。	金属加工部品の脱脂等。
テトラクロロエチレン	中枢神経系への障害、肝臓・腎臓への障害を及ぼすといわれ、発ガン性の可能性があるといわれている。	ドライクリーニングの溶剤、金属加工部品の脱脂等。
ベンゼン	中枢神経系への障害、造血系への障害を及ぼすといわれ、白血病の原因になることがある。発がん性があるといわれている。	化学物質（スチレン、フェノール、シクロヘキサン等）を合成するための原料等。